



新年明けましておめでとうございます。安芸高田市民の皆様にご挨拶申し上げます。安芸高田市の皆様にご挨拶申し上げます。新年のごあいさつを申し上げます。平素は、市政推進に對しましてご理解、ご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年は3月1日に甲立古墳が国史跡に指定され、毛利氏城跡に続き安芸高田市には国史跡が2箇所となりました。今後は歴史遺産、観光資源として守り伝え、活かして参ります。

また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による取り組みの実質的なスタートの年となり、安芸高田市が持続可能な自治体として発展するための重要課題に取り組みました。人口減対策は喫緊の課題であり、10年後の目標人口を27500人に設定し、Uターン、Iターン、Jターンといった移住者を増やす施策を推

進しています。「働く場」「住む場」「産み育てる場」の3つの分野を中心に「住みたいまち」に、さらに市の魅力を磨き「住み続けたいまち」となるよう市民の皆様や移住希望者のニーズを反映しながら新たな支援策やこれまでの制度の拡充を図ってきたいと考えています。

「働く場」の支援として、サテライトオフィス等の誘致、起業支援、青年就農給付金事業などを実施し、「住む場」の支援として、空き家情報バンク、子育て・婚活住宅新築、空き家の改修への補助に加えて、空き家購入・解体への補助を新設しました。「産み育てる場」の支援として、保育料の減免拡充、乳幼児等医療費助成制度の受給対象年齢の拡大を実施して参りました。

同時に、財政運営の効率化・健全化も推し進めています。地方交付税の合併特例加算が段階的に減少し、平成31年度には加算措置が終了します。「第3次安芸高田市行政改革大綱」に基づき、これまでの行政改革を踏襲しつつ、新たな課題にも取り組み、安定した経営基盤を市民の皆様と一丸となって確立して参ります。職員数の適正管理、事業の選択と集中、民間委託の取り組み、公共

施設の適正配置などに取り組んで参ります。高度経済成長期に整備された多くの公共施設は、維持更新あるいは統廃合も含めて計画的・効率的に対応していく必要があります。「安芸高田市公共施設等総合管理計画」において掲げた「公共施設の総延床面積の30%以上縮減」の目標に向けて、「公共施設の配置適正化」に取り組んでいます。

また、市民の皆様のご理解ご協力を賜り、引き続き自助・共助・公助の理念の下に、市民総ヘルパー構想による医療・福祉・介護の費用抑制を進めて参りたいと考えております。

本市は豊かな自然と歴史、独自の文化、多彩な観光資源など、数多くの「宝」と「強み」があります。

「住みたいまち」「住み続けたいまち」の魅力をより一層高め、その魅力を積極的に市内外へ情報発信し、移住者増加につなげていきます。現在、約2200名の会員から成る本市の応援団「ふるさと応援の会」にもお力添え頂きながら、市外からの視点を活かし、安芸高田市の魅力づくりにつなげていきます。

「宝」の一つである「神楽」を活

用した観光振興・地域振興施策については、全国16校参加、のべ3000人を超える来場者のあった「高校生の神楽甲子園ひろしま安芸高田」、約1200人に鑑賞いただいた「ひろしま安芸高田神楽東京公演」が大きな反響を呼ぶなど、着実に成果を挙げています。その成果の一つとして安芸高田市を舞台としたNHKドラマが全国放送されました。このドラマ放送を期に観光客の増、地域経済の活性化につなげていきます。

また、「サンフレッチェ広島」「ワクナガレオリック」といった日本を代表するトップレベルスポーツの応援・支援を市民の皆様とともに行うなど、各地域の「宝」と「強み」を地域資源ととらえ、地域活性化に取り組みます。「行政と住民の協働のまちづくり」により、未来の「宝」と「強み」が次々と誕生するよう引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



安芸高田市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

安芸高田市議会を代表して、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。市民の皆様には、お健やかで希望にあふれた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より安芸高田市議会に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、広島東洋カープが25年ぶりのリーグ優勝を果たし、県内がチームカラーの赤色に染まった年でありました。

本市におきましては、「甲田中学校男子ハンドボール部」の全国初制覇、また、吉田町を拠点とした「サンフレッチェ広島ユース」のウエストリーグ優勝など、スポーツの活躍に目を見張るものがありました。心よりお祝いを申し上げますと

もに、さらなる飛躍に期待いたすところであります。

さて、交付税の段階的縮減が進むなか、市の歳入は減少するばかりとなっております。国が進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市も昨年度に「安芸高田市人口ビジョン」「安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、新規事業の開拓を進めているところでもあります。

本市が以前より進めております空き家対策につきましても、空き家対策に関する関係法令の改正により、「安芸高田市空家対策協議会」を設置して空き家の利活用も含めた協議を進めており、議会としましても、空き家を活用してIターン・Jターンによる移住人口の増加を図るなど、人口減少の歯止め対策、少子高齢化対策などの推進に協力したいと考えております。厳しい財政状況の中ではありますが、創意工夫を行いながら将来像を実現する必要があると考えます。

安芸高田市議会といたしましては、二元代表制の一方の柱として、これまで以上に民意を反映させるため、「議会の権限と機能」を十分に発揮し、行政が推進する各種施策に

對し、監視や提言を行い、その役割を果たしてまいります。

新しい体制となり、心新たに、市民の皆様への負託にこたえるべく「真に市民に開かれた、市民のための議会」の推進と活性化を目指し、努力してまいります。

また、改選前からの課題となっており「議会基本条例」の制定にむけ、今後も引き続き議論を重ねてまいります。どうか本年も、市議会に對しまして一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年の新春にあたり、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。そして、新年の挨拶といたします。

